

# Working with UNIX Process

8. Arguments of Process / 9. Name of Process

# 今日学ぶこと

- プロセスには引数がある
  - プロセスで引数を受け取る
  - *Ruby*でプロセスの引数を参照する
- プロセスには名前がある
  - *Ruby*でプロセス名を参照する
  - *Ruby*でプロセス名を変更する

# 8章

## プロセスの引数

# プロセスには引数がある

- *Ruby*プロセスは*ARGV*で配列として参照できる
  - *argv* = *argument vector*
- *ARGV*は普通の配列 (*ENV*は普通のHashじゃなかったね...)

```
$ cat argv.rb  
p ARGV  
$ ruby argv.rb foo bar -va  
["foo", "bar", "-va"]
```

# 実用例

- プログラムにファイル名を渡す
- コマンドライン引数の解析
- *optparse*: 標準添付ライブラリ

```
# ユーザからhelpオプションを渡されたかを確認
```

```
ARGV.include?('--help')
```

```
# -c オプションの値を取得する
```

```
ARGV.include?('-c') && ARGV[ARGV.index('-c')+1]
```

# 9章

## プロセスの名称

# プロセスには名前がある

- *UNIX*プロセスには、プロセスの状態を知らせるための手段がほぼない...
- プロセスのレベルで情報を伝えるための2つの仕組み
  - プロセス名
  - 終了コード

# プロセス名

- プロセスには名前がある
- *Ruby*ではグローバル変数`$PROGRAM_NAME` (と`$0`) に格納されている
- 次のスクリプトの出力は？

```
puts $PROGRAM_NAME
```

```
10.downto(1) do |num|
```

```
  $PROGRAM_NAME = “Process: #{num}”
```

```
  puts $PROGRAM_NAME
```

```
end
```



# プロセス名

irb

Process: 10

Process: 9

Process: 8

Process: 7

Process: 6

Process: 5

Process: 4

Process: 3

Process: 2

Process: 1

# 実用例

- Resqueのプロセス管理 (付録1)
- <https://github.com/resque/resque>

# 今日学んだこと

- プロセスには引数がある
  - プロセスで引数を受け取る
  - *Ruby*でプロセスの引数を参照する
- プロセスには名前がある
  - *Ruby*でプロセス名を参照する
  - *Ruby*でプロセス名を変更する